

つじなか便利



第 314 号

発行日 R4. 11. 1

発行 辻中 医院

編集担当者 安藤 真由子

○診療時間 眼科 月・水・金 → 午前（9時～12時）& 午後（3時半～6時半）

火・木・土 → 午前（9時～12時）

○休診日 眼科 日曜・祝祭日・火、木、土曜日午後

※内科の診療に関しては、受付までお問い合わせ下さい。

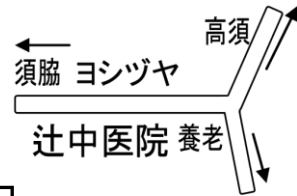
○ホームページアドレス <http://www.tsujinaka.jp>

つじなか便利

検索

○Eメールアドレス

tsuji_con@mti.biglobe.ne.jp



—— 年末年始のお知らせ ——

	12/29	12/30	12/31	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7
	(木)	(金)	(土) 当番2	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)
午前	○	○	◎	×	×	×	×	×	×	×
午後	×	×	◎ 4時まで	×	×	×	×	×	×	×

12/29～31は休日診療扱いとなります。

1/10より通常診療となります。

以上よろしくお願ひ致します。



辻中 医院 院長

京都

院長 辻中 まさたけ

最近、所用で京都市を訪れることが多くなった。以前は旧国立京都病院まで車で毎日通勤していたことがあったが、しばらく行っていないと本当に遠く感じられるものだ。京都市中心部は学生さんを初めてとした若者が多く見受けられ、まるでお祭りでもおこなわれているかのように感じる。地方の過疎化したところから訪れると、日本の少子高齢化がどこへやら、といった気がする。とはいえ、京都市も学生数の減少や市の財政状況、そして、インバウンドの縮小等、悩ましいことが多いと聞いている。

市内の喫茶店に入ると若い学生さんたちは今後の生き方を熱く語り合っていた。夢を想い、そして、夢を語ることはとても大事だ。年をいった私からは「現実はね、」と言いたくなるが「現実の壁に挫折してもいい、強くなってまた立ち上がればいい」と思う。競争原理の働きにくい日本では個々がそういった志がないと次々と諸外国に追い抜かれてしまうような気がする。

夜の散歩で二条城を見てきた。幕末には様々な熱き思いをもった人々が日本の行く末を憂いながら考えて動いていた京都、先人の蓄えで今の日本を生きている私たち現代人を見て、なんと思うだろうか？





ゆず頂きました♪

先日、患者さんから「鬼柚子（獅子柚子）」を頂きました。見た目が、獅子や鬼のような顔をしているので、そう呼ばれています。その名称から、厄払いや邪気払いが連想され縁起物とされています。実が1kgを超えるものもある事から「実入りが大きい＝千客万来」の縁起物として、お店に飾られたりします。また、ダイダイのように、お正月の飾り物にもされたりします。

中国が原産で、奈良時代に入ってきたとされます。

<特徴>柚子ではなく文旦の仲間なので、柚子のような強い香りはなく、ほのかに柑橘類の香りがします。とても大きな実で、直径20cm前後にもなりますが、皮が非常に厚く、表面が滑らかではなく、ブクブクした感じに起伏しています。表皮と果肉の間には文旦と同じ様に、

かなり厚く白い綿が詰まっています。中のサジョウは、グレープフルーツ程の大きさで、水分が少なめで触った感じはパサパサしています。

果肉はそのままではあまり美味しくありません。果肉を楽しむ果物ではなく、ピールや、砂糖漬け、マーマレードにします。

関東以西で栽培されており、家庭などの観賞用として園芸的に扱われています。商業生産は、ほとんどされていません。

収穫時期は早い所で10月初旬から12月中旬まで。青い物は1か月もちます。

文責 山内



ワイン日和！

先日院長先生より、ワインを頂きました。
ワインにもとてもお詳しく、ワインについて会話をしていると、時間を忘れてしまいます。そんな、こんなで、院長先生セレクト 2007 年のカロンセギュールを頂きました。ソムリエのように飲んだ感想をうまくお伝え出来ませんが、一言でいうと、“エレガント”なワインでした。ワインは奥が深いので、知れば知るほど、その魅力にはまっています。

おいしいワインというのは、(クリュ=特定のワインを生み出す畑)があり、そのブドウ、畑を管理する生産者がいて、ブドウ自身も頑張って熟成します。なんだか、今の自分ようです。クリニックで働かせて頂き、指導も受け、日々成長している気がします。患者さんに、親しまれるスタッフになれるよう頑張ります。
いろいろ考えながら飲むワインは楽しいですね。 文責 安藤



Yさんより頂きました♪